

語釈：インターネット Twitter 上でみる Trump 米大統領の英語 (20) (A Basic Way of Reading Trump-Language)

後藤 寛

本連載では、英語における各語の「音感と一体化させた語感の獲得」という趣旨で特別に paronym (同系語：P) に注目しているわけであるが、この paronym とは別に synonym (類義語：S) の身近な例で game, match, tournament, competition, play, bout, race, contest, sport, fight, etc. を耳にしたり目にしたとき、われわれは瞬間にどういう語感としてこれらの語を感知するか？である。

competition と bout 以外はすべてカタカナ語にもなっている。これらの synonym のうち Basic 語は **competition, play, fight, sport** (プラスα Basic 語) の4語である (match は「マッチ・マッチ棒」の意味では Basic 語ではあるが、「試合」の意味では un-Basic 語)。ほんのこの例からだけでも英語における **paronym (P) と synonym (S) の区別**とともに、各語のもつ語感を感知することの重要性は示唆されよう。

政治的には2月5日にウクライナ疑惑を巡る Trump 大統領の弾劾裁判で上院が無罪評決(acquittal)をしたが、予想通りの展開と結果であった [acquittal は quit (やめる) などと同系語であるし、Basic 語によりどこを求めれば **quite, quiet** とも同系で、このあたりは拙著(2016)「松柏社」、第二部、例(134)参照]。

就任以来 Twitter 上の彼の投稿文はすでに 11,000 を超えたが、時系列をさかのぼり今回は次の文例で英語同系語(P)の織り成す世界(the paronymic network of English words)をさらに追ってみる。

(1) Looking forward to being with the Bush family. This is not a funeral, this is a day of celebration for a great man who has led a long and distinguished life. He will be missed! (December 5, 2018)

▲米国第41代大統領(George H.W. Bush) [第43代大統領 George W. Bush の父] が2018年11月30日に死去し(94歳であった)、遺族に会う前の Trump 大統領のツイートである。「葬儀というより長期に渡り傑出した生涯を送った偉人を祝福する日となり、故人は惜しまれよう」と言っている内容である(ただし、Trump 氏とこの故人の間にはかなりの確執があったことはよく知られている)。

この亡くなった父のほうの Bush 元大統領は、もう25年以上前にもなるが Barbara 夫人とともに来日したことがある。滞在中に宮沢首相(当時)主催の晩餐会の模様がテレビで中継されていたがその席上で突然 Bush 氏が嘔吐し、倒れ込み、場内は騒然となった。彼は体調を崩していたようである。そのとき同席していた Barbara 夫人が、周りを静めようとして言った冗談を筆者は今も覚えている。彼女は次のようなことを言った。もちろん一言一句同じではないが今、思い出しながら復元する。

“... I'm beginning to think that this happened probably because Ambassador Armacost who is here tonight beat my husband this afternoon. He beat him at tennis this afternoon.”

音源は残っていないが、ほぼこのように言ったと思う。すなわち彼女は、“どうやらこれは、今夜ここに臨席のアマコスト駐日米大使が今日の午後、私の夫を beat したからだと思います。彼は今日の午後、テニスで夫を beat した(負かした)のです”と言ったの

である。文頭の破線部でも何か言ったような気がするが、もう記憶にない。キー語句の I'm beginning to think/ Ambassador/ beat him/ tennis ははっきり頭に残っている。

英語のできる宮沢首相もこれを聴いた瞬間に笑いを吹き出していた。アマコスト駐日米大使（当時）も苦笑い。この彼女の冗談で場内に笑いも起り雰囲気は一瞬に和らいだ。その後メディアもこの Barbara 夫人の気の利いた冗談を取り上げたが、本会会員で覚えている人があるだろうか？当時かなり有名になった。これはまさにアメリカ人的なジョークで、日本人には難しい。Barbara 夫人も Bush 氏より少し前に亡くなったが、彼女のこのときのイメージが今もかすかに目に映る。

ところで、冒頭で「試合」などに関する synonym (類義語 : S) を引き合いに出したが、tennis は Basic 語でならどう言うか？「野球」が baseball、「バスケットボール」が basketball なら、「テニス」や「バレーボール」は netball (?) とか over-the-net-ball (?) とでも言いたくはなる。もちろん「球技をする人」はすべて ballplayer である。Basic は慣用性とは別にしばしば拡張的に新表現を生む。冒頭で確認したように match も「試合」の意味では非 Basic 語であり、語彙制限の下で「テニスの試合」なら over-the-net-ball competition とでもなろうか。いずれにせよ、この種の表現を 天下御免の英語 としてしまうわけである。ネイティブに This is not the way you say it in English, but still it is all right in English, isn't it? (これは Basic 文であるが) などと言いたくなる堂々たる英語表現が他にもいろいろある。「そうは言わないが、そう言える英語」ということである。

太線語 funeral の起源はあまり明確ではないが、印欧祖語の語根 PIE etymon の音素形を /DHEU(ə)/ とする文献もある。初頭音 [d] が [f] となりラテン系の語 funeral を生んだことになるが、どうやら元は「取り囲まれた小高い山」のような意味だったらしい。ここに死者を葬ったということからであろうか。プラス α Basic 語にラテン系の perfume {per (= through) + fume (= smoke)} (香水) があるが、文献を紐解くとこれも同系語 : P らしい (スペイン語では fumar が to smoke の意味である)。初頭音に [d] をもつ Basic 語として **dead, death**、さらに un-Basic 語の dune (砂丘) などどうやら funeral と同系のようなのである。そしてさらには Basic 語 **down, town** と同系となる (cf. downtown)。down は「丘から離れること」が原義で、これが「下向き」の意味となった。このあたりの解釈はレベルは高くなるが、いずれにせよ、アメリカの英語言語学者 J.T. Shipley などによる印欧祖語における語根音素形 PIE etymon の復元は貴重な研究業績である。

太線語 distinguished に注目されるとよい。dis-tin-guished と 3 音節の語であるが、強勢音節部 tin とともに sting < s + tin + g の部分の音を感じ取ると、文字どおり sting (刺す) が見えてくる。この sting は Basic 語 **stick, stitch** などと同系で、distinguished {di(s) (= away) + stingu (= stick, stitch) + ish + ed} から「棒、杭などで刺して分けること」→「傑出した、秀でた、優れた」の意味が浮き出てくる。

さらには Basic 語 **stocking** (ストッキング) も同系語である。杭に穴をあけ罪人がその中に脚を入れられ動けないようにされた刑罰の方法があったことに由来する。もちろん un-Basic 語 stock (切り株) も同系である。さらに un-Basic 語 steak (ステーキ肉) など棒に刺して料理したわけで同系 [他の多くの同系語 : P の例は同上拙著、第二部、例(5)参照]。日本の伝統的な謎掛けは意味論的に大いに注目に値するが、「steak (ステーキ肉) と掛けて何と解く?」、「stocking (ストッキング) と解く」、「その心は?」→「発生源が棒・杭のことで同一」ということになる。

(2) My thoughts and prayers are with the @USMC crew members who were involved in a mid-air collision off the coast of Japan. Thank you to @USForcesJapan for

their immediate response and rescue efforts. Whatever you need, we are here for you. @IIMEF (December 6, 2018)

▲USMC(United States Marine Corps)米海兵隊員(7人)の乗る訓練中の戦闘機(2機)が日本の沿岸沖(高知県・室戸岬沖の太平洋上)で空中衝突した。敏速な対応と救援を在日米軍(沖縄にある IIMEF 司令部)に感謝するとともに、援助の用意があると伝えているツイートである。末尾の ... , we are here for you. の後ろにカジュアルな風味の出る感嘆符の!が付されていないのは Trump 大統領らしくなく、めずらしい。

文中、下線部 My thoughts and prayers are with ... は Trump 大統領がほぼ決まって用いる悔みの言い方スタイルである[本連載(3)の①参照]。また、下線の2つの人称代名詞 you と their にもこの場合、注目しておいてよい。

太線語 immediate (すぐさま)は「間(ま)がないこと」の意味である。{im (= not) + med (= middle) + iate}と要素分解される。元来は心理的な「心の中で思うこと」で、間に割って入り仲介となるものとして神の存在すら見せしめるという語感がある。PIE etymon の音素形は/ME/ (異形が/MENS/, /MON/)とされ、Basic 語の同系語に **mind, memory, music, amusement, middle, medical, etc.**があるし、プラスα Basic 語に *mathematics* (数学)、*museum* (博物館)などがある。music はギリシャ神話での芸術の女神 Muse (ミューズ神)を楽しませるものである。*museum* は芸術品を見て Muse 神を称賛し、楽しむための場である。medical (医療の)は本連載(16)の(1)でも若干触れた部分があるが、昔は病にかかればひたすら神を思い祈るしかなかったわけで、これは神の介入・取り持ちという考え方が一方で背景にあることになる。

また、un-Basic 語の monster (怪物)、monstrous (途方もない)、monument (記念碑)、demonstration (デモ)、meaning (意味)、media (メディア)なども同系語である。さらに、Mediterranean Sea (地中海)の Mediterranean は{medi (= middle) + terrane (= land) + an}で「大陸と大陸の間の海」の意味。PIE etymon の音素形/ME/からは他にも多くが同系語(P: paronym)として英語になった[その例は同上拙著、第二部、例(28)参照]。

Trump 大統領の tweets には秒単位・分単位で膨大な数の返信 tweets が全米をはじめ他国からも送信されるが、上の tweet にすぐさま反応し次のような返信 tweet を送信した人もあった。参考までに2例だけ掲げておく。大変皮肉で、痛烈である。

- cf. ・ Well, we know that you didn't tweet this, because it expresses empathy, is spelled correctly, and more importantly : makes sense.
・ You have no thoughts and all you pray for is more money.

(演習) 本連載(16)~(20)より

一連の本連載はその場限りのものではなく、読み込めば必ず勘が働くようになるはずである。一旦この勘を獲得したら、しめたもの。即その勘は根を下ろし、類推により他にも応用が効くこととなってくる。語の意味が根っから分かることとなる。

これまでどおり確認のための演習としたものであるが、素早く正解したい。スピードの遅いのは本来の音感と語感の直感的な把握とならないことは、たびたび言ってきた。本連載(11)で提案した「英語同系語パノプティコン(PPE)」は大いに役立つだろう。

次の各々 a)~q)の一般語は、下の①~⑱の Basic 語(イタリック体はプラスα Basic 語)のうちどれと同系(paronymic)か。

- a) forest b) blossom c) bullet d) rust e) illustration
 f) metropolitan g) beetle h) contact i) whether j) confidence
 k) metaphor l) flake m) swan n) course o) distinguish
 p) dune q) monster

* * *

- ① **ball** ② **bite** ③ **door** ④ **down** ⑤ *faith* ⑥ **flame**
 ⑦ **horse** ⑧ **light** ⑨ **mind** ⑩ **offer** ⑪ **plant** ⑫ *police*
 ⑬ **red** ⑭ **song** ⑮ **stocking** ⑯ **take** ⑰ **who**

.....

[正解]

a) ③	b) ⑥	c) ①	d) ⑬	e) ⑧	f) ⑫	g) ②	h) ⑯	
i) ⑰	j) ⑤	k) ⑩	l) ⑪	m) ⑭	n) ⑦	o) ⑮	p) ④	q) ⑨